

展覧会情報

企画展「続・地図記号わくわく大図鑑」

会場 地図と測量の科学館
 電話029-864-1872
 期間 平成19年7月31日(火)～9月24日(月)

地図でたどる世界遺産

会場 岐阜県図書館世界分布図センター
 電話 058-275-5111
 期間 平成19年7月28日(土)～10月25日(木)

特別展「北海道を探検した男 松浦武二郎～未知への憧れ・挑戦～」

会場 美幌博物館
 電話0152-72-2160
 期間 平成19年9月2日(日)～10月26日(日)

「明治大学所蔵 村絵図の世界 故郷の原風景を歩く」

会場 明治大学博物館
 電話03-3296-4448
 期間 前期:平成19年9月14日(金)～10月23日(火)
 後期:平成19年10月26日(金)～12月4日(火)

特集展示「城下町大坂」

会場 大阪歴史博物館
 電話06-6946-5728
 期間 平成20年2月20日(水)～3月31日(月)

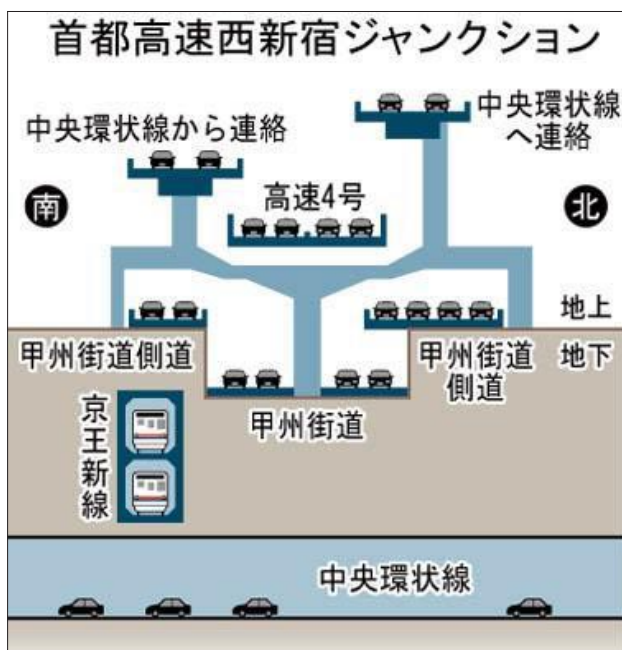
古地図企画展 地図を楽しむ

会場 神戸市立博物館
 電話078-391-0035
 期間 平成20年3月1日(土)～3月30日(日)

mini地図NEWS

■地図制作者泣かせの7層ジャンクション完成

首都高速道路(株)の中央環状新宿線(板橋～目黒間、11km)の西新宿ジャンクション(JCT)は2007年12月、同JCT～板橋間が開通する。このJCTの特徴は、高架の首都高速4号上に連絡路を重ね、地下にも道路と鉄道が通るといって計7層の交差。高低差は52メートルに達



し、同社は「世界的にも珍しい立体交差点」という。

地表から最も高い地上25メートルの連絡路からは都庁など新宿の高層ビル群が一望できるが安全確保のため駐停車できない構造とする。地表部分は国道20号(甲州街道)の側線と山手通りの交差点で、その下を20号の本線がくぐる。地下を京王電鉄の京王新線が走り、さらにその下を中央環状線の本線が交差するという構造だ(左図参照)。同線は、西新宿JCT～目黒間も2009年度に開通する予定。

(左図と本文(参考)はSANKEI Web、右図は首都高速道路(株)より(部分))



地図絡み

第30回 駅名と地名のすきま -2つの地名を重ねた駅-

帝京大学理事 井口悦男

交通機関の止まる場所は、どれもその場所あるいは、近くの地名を付けることで、その位置を、他との違いを含め、表わす。すなわち、鉄道の駅はそれぞれの場所の地名にしたがい、名付けられている。そして、わたくし達は駅名を通じ、全国それぞれの地名と、その位置を知ることが多い。

しかし、改めて駅名とは地名を表すと定めこんでいかとなると、多くはという但し書き付きとなる。判で押したように、日本中で一致するとなっていない。そこは人間の作品らしく、ご都合による融通をきかした場合も含まれる。

今回は、2つの地名を掲げる駅を取りあげる。ひとつの駅名のなかに、じつは2つの地名を重ねているものがごく少ないが見られる。しかも近頃、その傾向が強まっている。

早く知られている例に、小田急の「^{そしがやおおくら}祖師ヶ谷大蔵」、銚子電鉄の「^{かさがみくろぼえ(い)}笠上黒生」、JR内房線の「^{うちぼう}那古船方」があげられる。言われないと気付きにくい、2つの地名の並び方による発音構成の心地よい納まりかたで、ひと続きの地名とも思えてくる。

それでは、小田急の「代々木上原」は、同様に考え「代々木」と「上原」、2地名の合成名称駅名かといえ、こちらはそうではなく、現在、渋谷区上原1~3丁目域となる。旧代々幡村の大字と字(小字)名にもとづく



5万分1「銚子」昭和28年応急修正 国土地理院
昭和30年6月発行による。
図に駅名なしながら、海側に「^{クロバヤ}黒生」と「笠上町」とが、畑地の広がるなかに見られる。



5万分1「那古」昭和10年測図及修正 陸測
昭和12年8月発行 参謀本部(軍事極秘)
JR内房線(旧房総西線)が、街道上2つの町の丁度中間を通り、そこに駅も置いた。



「代々木上原」と「祖師ヶ谷大蔵」
平成19年8月13日
筆者撮影

1地名を表わすから単純でない。

近ごろの新設駅名に見られやすくなった2地名合成の例として、埼京線(東北本線の別コース線)の「^{うきまふなど}浮間舟渡」は、地図で2つの行政区画の境界線上に設けられているのを知る。戦後大規模に全国の実施の面的構成中心の地番改正で、主要道路の両側を別名にしてしまったことが、東京の地下鉄新設線や新設駅にこの種の駅名を増やした。銀座線の「溜池山王」、半蔵門線の「清澄白河」、三田線・南北線の「白金高輪」など見られる。

大江戸線に「落合南長崎」がある。現住居表示によると、北から「南長崎」「西落合」そして「中落合」と、3カ所を意味する合成駅名であるが、さすがにまとめきれず、「旧落合町」域として2つを1つにし、「旧長崎町」域は、現称によったとなろうか。3つをそのまま重ねて、1つの駅名にはなれない。

「鷺沼」「久々田」「谷津」の3集落の合成から「津田沼」という合成地名を案出したような、見事な工夫も、ただ重ねて並べてみるだけから進められることが求められよう。

(07.08.13)